

プログラムの概要

情報通信技術 (Information and Communications Technology, ICT) は、私たちの社会生活や経済活動になくてはならないものとなっています。ICT は高度化・多様化しており、この変化に対応した専門的な知識及び技能を有する人材が求められています。

本専攻では、ICT に関する基本的かつ普遍的な知識を深めつつ、最新の専門知識を修得することができるカリキュラムを用意し、ICT に関する高度な技術を身に付け、地域社会および国際社会で活躍する指導的人材を養成します。

修了認定の基準 (ディプロマ・ポリシー)

情報システム科学専攻では、以下の学修・教育目標をすべて達成し、所定の単位を修め、修士論文審査に合格した者に対して修士の学位を授与します。

- (A) 情報関連技術の土台となっている基本的かつ普遍的な知識を第三者に伝授できるまでに修得し、高度情報技術者として必須の基礎知識をより深く身につける。
- (B) 高度情報技術者として最新の専門知識を修得し、それを、倫理観、責任感を持って広い視野から問題解決に応用する能力を身につける。
- (C) 最新の情報技術に関するテーマについて主体的に研究計画を立案、遂行し、その成果を分かりやすくまとめて発表・議論し、さらには指導できる能力を身につける。

履修条件 (アドミッション・ポリシー)

1. 求める学生像

- (1) 情報システム科学の基礎科目に十分な学力を有する人、または、他の分野で深い知識を身につけた人で、さらに情報システム科学の分野の学修や研究に意欲を持つ人
- (2) 主体性があり、常に問題意識を持ち、解決に向けて自ら考え、行動を起こす意欲と能力を備えている人
- (3) 情報システム科学やその関連分野における専門知識を身につけて、積極的に社会に貢献しようと考えている人

2. 入学者選抜の基本方針

- (1) 修士論文研究に必要な基礎的学力と思考力を備えているかどうかを重視します。
- (2) 情報系、理数系分野に対する熱意と能力も評価の対象とします。
- (3) 主体的な姿勢、論理的思考力、表現力、多様な人々と協働できるコミュニケーション能力なども考慮して評価します。

到達目標に達するためのカリキュラム方針 (カリキュラム・ポリシー)

情報システム科学専攻では、以下の4つのカリキュラム方針を定めています。

1. 基本かつ普遍的な知識の深化

情報関連技術に関する基本的かつ普遍的な知識を深める。

2. 最新の専門知識の修得

情報関連技術に関する最新の専門知識を修得する。

3. 問題解決のための幅広い視野の育成

幅広い視野をもって問題解決を実践する能力を身につける。

4. 自立した研究者・技術者となる能力の育成

主体的に研究計画を立案、遂行し、その成果を分かりやすくまとめて発表・議論できる能力を身につける。

情報システム科学専攻 カリキュラムツリー

